



吉敷の木
「もみじ」



吉敷の花木
「うめ」



吉敷の草花
「マリーゴールド」



吉敷の草花
「サルビア」

ふるさとだよ

よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI

2019

6

No. 759



ついに取ったぞ!勝利の栄冠 赤田町内会
吉敷地区大運動会

C O N T E N T S

【トピックス①】
総会・代議員会を合同で
開催しました…… 2

【トピックス②】
第1回「よしきホテルの夕べ」を
開催します…… 5

今月の吉敷人…… 5

インフォメーション…… 6

レポート…… 7

イベントカレンダー…… 8

かけはし…… 8

YOSHIKI
DATA

【人口】14,797(前月比 +67) 【世帯数】6,357(前月比 +62)

令和元年5月1日現在

よしき人





総会・代議員会を 合同で開催しました

5月10日(金)、地域づくり協議会総会、自治会代議員会、地区社会福祉協議会代議員会を合同で開催しました。会議資料は、地域づくり協議会ウェブサイトに掲載するとともに、事務局に閲覧用を備え付けています。

吉敷まちづくり計画の スローガンと活動目標

吉敷のまちづくりを推進するために策定した「吉敷まちづくり計画」では、住民の皆さんに地域活動へ積極的に参加していただくため、スローガンとして「みんなで支え合う笑顔あふれるふれあいのまち吉敷」を設定し、活動目標を「地域振興」「地域福祉」「安心・安全」「環境づくり」「地域個性創出」としています。それぞれに将来像を定め、地域ぐるみで取り組んでいくことにしています。

3団体が一体となって進める 吉敷の地域づくり・まちづくり

吉敷地域では、市が推進する「協働によるまちづくり」として、地域課題の解決に取り組むため「地域づくり協議会」を設置しています。自治会と地区社協から地域づくり協議会へ財源を集め、3団体が一体となった運営に努めています。

令和元年度 事業計画・予算

〈収入の部〉

(単位:円)

項 目	予 算 額	内 訳
会費	2,880,000	会費600円×4,800戸
助成金		
道路維持活動	719,000	市道除草業務委託
特林自治会活動補助金	100,000	①特市特林特別会計吉敷特別林野費
その他	113,000	緑化募金奨励金
繰入金	260,000	地区防災会無線機
諸収入		
返戻金	413,263	前年度地域づくり協議会自主財源精算
雑収入	902	利息ほか
繰越金	1,330,835	前年度自治会繰越金
合 計	5,817,000	

吉敷自治会は、16の町内会・自治会で構成され、地域住民どうしで助け合って住みよい地域を築いていく大切な役割を担い活動している組織です。会費として一世帯600円を集め、様々な活動に取り組んでいます。

「吉敷自治会」

〈支出の部〉

(単位:円)

項 目	予 算 額	内 訳
事業費		
自治会活動費	685,000	町内会長会、子ども会活動支援ほか
地域づくり活動費	380,000	地域づくり協議会へ
広報活動費	170,000	広報委員会へ
消防費	1,307,000	市消防団吉敷分団後援・消防活動
地域防災費	263,000	地区防災会無線機
道路維持活動費	719,000	市道除草業務委託事業
負担金	1,327,000	地域づくり協議会へ(人件費・事務費)
事務費	370,000	コピー代、事務用品、切手代ほか
雑費	50,000	慶弔費ほか
予備費	546,000	
合 計	5,817,000	

情報交換の場として「町内会長会」を毎月開催
毎月第1木曜日に、地域住民の一番身近なコミュニティである町内会・自治会の会長が集まる町内会長会を開催しています。
地域交流センターからやまぐち車座トーク21などの行政情報も得ながら、地域の様々な情報の交換や共有の場となっています。また、地域課題の提議・解決のために、協議・検討も行っています。

令和元年度 町内会・自治会 会長名簿

町内会・自治会	会長名	摘 要	町内会・自治会	会長名	摘 要
吉 敷 畑	増 本 満		木 崎	内 田 信 行	
中 尾 西	中 原 裕 孝		木崎団地	松 前 真 次	
中尾東上	周 田 修		上 東	守 永 修 平	吉敷自治会副会長
中尾東下	中 村 公 一		上東住宅団地	木 村 久 子	
緑ヶ丘	村 上 竜 司		下 東	内 田 秀 高	吉敷自治会会計
赤 田	木 村 克 己		京面団地	中 原 隆	
佐 畑	浅 田 規 文		大 橋 町	櫻 間 茂 樹	吉敷自治会副会長
中 村	岡 本 宣 幸	吉敷自治会会長	稲 葉 町	吉 川 忠 昭	

吉敷地域の振興のため
自治会活動の推進
安心・安全な地域づくりを進めるため、各町内会・自治会単位の「自主防災組織の立ち上げ」を推進しています。
また、地域を守る市消防団吉敷分団の後援活動や市道除草業務の受託、子ども会などへの活動支援、広報活動の充実にも取り組んでいます。

令和元年度 事業計画・予算

〈収入の部〉

(単位：円)

項 目	予 算 額	内 訳
交付金	9,892,000	事業費へ4,817,000 人件費へ4,334,000 事務費へ741,000
補助金	30,000	ホテル増殖保護事業
繰入金	4,696,000	自治会 (事業費380,000 人件費777,000 事務費550,000) 地区社協 (人件費2,719,000 事務費140,000) 地域交流センター運営協議会 (事務費130,000)
雑収入	85,000	吉敷さんば販売@500×50冊 よしきフォトカレンダー@200×300冊
合 計	14,703,000	

〈支出の部〉

(単位：円)

項 目	予 算 額	内 訳
地域振興	150,000	ふれあいネットワーク
	710,000	よしきフォトコンテスト
	320,000	人材発掘に向けた交流事業
	400,000	夏まつり
	450,000	ふるさとまつり
	50,000	旧出張所・公民館跡地活用検討
	420,000	広報委員会へ
	200,000	人権学習推進協議会へ
	70,000	こどもドリームプロジェクト
地域福祉	280,000	大運動会、多世代交流グラウンドゴルフ大会
	50,000	⑨えがお食堂よしき
安心・安全	110,000	地区防災会へ
	300,000	反射鏡・交通安全施設の充実
	203,000	交通安全・防犯対策協議会へ
	224,000	青少年健全育成協議会へ
環境づくり	150,000	ホテル増殖・放流事業
	290,000	環境づくり推進協議会へ
地域個性創出	80,000	凌雲寺跡活用検討
	855,000	文化振興協議会へ(⑨よしきホテルのタベ含む)
協議会運営	1,461,000	事務費ほか
	7,930,000	事務局人件費(事務局長1名、事務局員4名)ほか
合 計	14,703,000	

「地域づくり協議会」

地域づくり協議会は、地域課題の解決のため、地域の皆さんや地域づくり関係団体とともに策定した第2次地域づくり計画「吉敷まちづくり計画」に基づき、各自治会・町内会を始めとした地域の団体と連携して、様々な行事などに積極的に取り組んでいます。

市の地域づくり交付金を主な財源として活動しています。

跡地を活用した 地域振興ビジョンの策定

ふれあいと交流による元気で住みよいまちづくりを進めるため、旧出張所・公民館跡地を活用した、多様な機能を有する新たな交流拠点の整備に向けての調査やビジョンの策定に取り組めます。

様々なまちづくりに関わってこれた専門家のアドバイスも受けながら進めていくことにしています。

ホテルを通じた地域住民の ふれあいや交流の促進

吉敷のホテルの観賞を通じて、地域住民の地域に対する関心や愛着を深めるとともに、自然環境の保全に対する意識の高揚を図るため、「よしきホテルのタベ」を開催します。

地域住民のふれあい・交流を促進するため、小・中学校や幼稚園、商工振興会など地域内の活動団体とも連携し開催します。

誰もが集える場の提供による 交流と見守る関係づくりの促進

誰でも気軽に利用できる地域食堂「えがお食堂よしき」を開設し、子どもや高齢者の孤食を防ぎ、居心地の良い居場所で交流を図ります。

「みんなで食べるとおいしいね」と、参加する人やボランティアなど大勢で食べることに、地域の人々と知り合い、ともに支え合い、心豊かに暮らせるまちづくりを推進します。

令和元年度 事業計画・予算

〈収入の部〉

(単位:円)

項 目	予 算 額	内 訳
住民会費	2,240,000	住民会費500円×4,480戸
市・市社協助成金	1,293,500	老人福祉行事
	1,770,770	地区社協活動費・事務費
	88,770	福祉員活動費
	2,848	小地区見守り研修
	5,000	福祉の種まきリーディング事業
市社協委託金	102,600	小地区見守り活動
	363,250	ふれあい型給食
	5,000	地域福祉活動計画実行委員会
共同募金配分金	1,001,744	地域福祉活動費
寄付金	300,000	香典返し、寄付金
繰入金	1,096,000	事務費(もみじ学級・げんきやかた・ふれあい型給食)
繰越金ほか	1,344,518	前年度繰越金、利息
合 計	9,614,000	

〈支出の部〉

(単位:円)

項 目	予 算 額	内 訳
住民活動費	1,345,240	敬老会行事等町内会助成
	170,000	広報委員会へ
	80,000	サロンの運営支援
	175,000	多世代交流や福祉関係団体交流の促進
	382,000	地域福祉活動の促進、小地区見守り活動
厚生保護費	248,770	民生委員児童委員協議会、福祉員協議会
	401,000	福祉団体助成
	383,250	ふれあい型給食会活動費
諸費	60,000	弔電、挨拶状ほか
負担金	2,341,000	市社協会費、市社協バス負担金
事務費	300,000	会議費、事務用品ほか
雑費	20,000	慶弔費
繰出金	2,859,000	地域づくり協議会へ(人件費、事務費)
予備費	848,740	
合 計	9,614,000	

「地区社会福祉協議会」

地区社協は、吉敷自治会をはじめ、民生委員児童委員協議会や福祉員協議会などの関係団体で構成され、様々な福祉活動を展開している団体です。

第3次地域福祉活動計画「吉敷まちづくり計画」に基づき、住民会費や共同募金配分金などを主な財源として活動しています。

交流でつながりともに支え合う 心豊かに暮らせるまち

多世代交流事業では、新たにオフィスポッチャを取り入れ、世代を超えた交流を促進していきます。

また、ふれあい・いきいきサロンや子育て支援団体、地域で活動する団体など、それぞれ活動する福祉関係団体どうしの交流を促進し、より一層地域のつながりを深めていきます。

身近な地域での憩いの場 仲間づくりや生きがいづくり

吉敷地域では、地域の皆さんが身近な場所仲間づくりや生きがいづくりができるよう、全町内会へのサロンの設置を目指しています。

つどいの広場「楽楽」やサロンを支援していくとともに、放課後児童クラブや高齢者生きがいセンターを運営・管理していきます。

年2回開催するペタンク交流会



ペタンクを通じた世代間交流や地域内交流による、健康づくりと仲間づくりを行っています。

小地区見守り訪問活動グループ員研修会



小地区でグループをつくり、高齢者などが安心して暮らし続けるための研修会を実施しています。

みんなで見守り支え合い 安心して暮らせるまちづくり

高齢者などが安心して暮らし続けるために、町内会長、民生委員、福祉員が中心となったグループにより、見守り訪問活動を継続して行っています。

また、ふれあい型給食会では、月1回、見守りが必要な高齢者へ手作りのお弁当も届けています。



第1回「よしきホタルのタベ」を開催します

吉敷川が貫流する吉敷地域は、戦前、ゲンジボタルの乱舞する里として知られていました。現在も、良城小学校児童や地域住民による「ホタルを育む会」において、ホタルの増殖や放流に取り組んでいます。

「よしきホタルのタベ」を開催 小・中学校や商工振興会も参画

こうした中、吉敷のホタル鑑賞を通じて、住民の地域に対する関心や愛着を深め、自然環境の保全に対する意識の高揚を図るとともに、より一層の住民の交流を図るため、6月8日(土)、9日(日)に「よしきホタルのタベ」を開催することになりました。

主催は「よしきホタルのタベ実行委員会」で、これには、小・中学校、良城商工振興会等も参画し、地域ぐるみでこのイベントを盛り上げることとしています。



ホタル鑑賞スポットをパネルで紹介
開催両日、地域交流センターを会場として、吉敷のホタル鑑賞スポットのパネル展示や、良城小学校ホタル委員会の取り組みを紹介するパネル展示などを行います。

ステージイベントや屋台も出店

8日(土)は、ステージイベントも行い、地域交流センター臨時駐車場では良城商工振興会が焼き鳥やコロッケ、飲み物などの屋台を出店します。

ホタルカゴづくりや生態講座も

9日(日)は、地域おこし協力隊の粉川妙氏による「ホタルカゴづくりや、やまぐち昆虫楽会」の角田正明氏によるホタル生態講座、夜は参加者で吉敷川沿いを赤田神社まで歩きながらホタルを鑑賞するホタル散策も行います。申し込み方法など、詳細は回覧や次ページをご覧ください。

吉敷のホタルを鑑賞しながら、楽しいひと時を作りませんか。

問い合わせ「よしきホタルのタベ実行委員会地域づくり協議会内」

☎083-9222-1334

よしきびと

今月の

吉敷人

No. 068

こ だ ま よ り 幸 希
児玉 頼幸 さん (58)

NPO法人山口せわやきネットワーク 代表

中央志向でしたが、高校3年の秋に父親が急に亡くなり、山口大学に進学し、県庁に就職されました。県庁での最初の職場が社会福祉事務所で、生活保護のケースワーカーとして勤務されました。とても勉強になり、福祉が自分のライフワークになったようです。

県庁に勤務するかたわら、平成15年にNPO法人山口せわやきネットワークを設立し、「市民活動支援センターさばらんて」で市民活動の相談に応じています。

そうした中で、最近マスコミで子どもの貧困問題が取り上げられるようになり、そうした子どもたちの居場所づくりとして地域食堂の開設に取り組んでいます。

吉敷でも、誰もが安心して、助け合いながら生活し続ける地域をつくりていきたいという児玉さんの熱い思いを受けて、地域づくり協議会により今年2月に地域食堂「えがお食堂よしき」が開設されました。対象を子どもに限定せず、誰でも参加できることもあって毎回大勢の人で賑わっています。(広報委員:横山)

昭和35年美祿市生まれ、上東在住。妻、長女と暮らす。趣味は映画観賞で、以前、「山口映画友の会」で10年間自主上映活動を実施。好物は甘いもの、お餅など。

よしきびと

今月の

吉敷人

No. 066

と き の り じ ゅ ん い ち ろ う
時乗 順一郎 さん (59)

鴻南中学校 校長

4月に白石中学校より着任いたしました。

今年の鴻南中学校のテーマは「ONE TEAM」です。生徒全員が「好きです鴻南」を合言葉にして頑張っています。皆さん是非いらしてください！

山口市出身、小郡在住。ゴルフコンペの主催をするほどのゴルフ好き。

よしきびと

今月の

吉敷人

No. 067

な か む ら か ん な
中村 奏那 ちゃん (1歳4ヶ月)

赤ちゃん

じじちゃんが大好きなかんちゃん！最近は階段を上がることにハマっていて、益々目が離せません。かんちゃんが産まれてから毎日幸せだよ。ありがとう。これからも元気に大きくなってね！

健太さん、志保さんの長女。佐畑在住。

イニフオメーバン

ブックスタート体験会

絵本に関心を持ち始める時期の乳児とその保護者を対象に、絵本を無料で贈呈する「ブックスタート体験会」を開催します。

【とき】6月3日(月)

①10時～12時 ②14時～16時

【場所】地域交流センター 和室

【申込】不要

【問い合わせ】市立中央図書館

☎083-901-1040

「ホタルかご」づくり

麦わらで作る「ホタルかご」を一緒に作りませんか。

※ゲンジホタルは、天然記念物です。採取することはできませんのでご注意ください。

【とき】6月9日(日)13時～15時

【場所】地域交流センター 講座室

【講師】粉川 妙氏(市地域おこし協力隊)

【対象】25名(先着順)

【準備】ホタルかごを持ち帰るための袋

【問い合わせ】よしきホタルのタベ実行委員会

☎083-922-1334



ホタルかご

ホタル散策講座

吉敷のホタルについて、その生態を分かりやすく解説します。

みんなで散策しながらホタルを鑑賞することもできますよ。

【とき】6月9日(日)

①18時～19時 ホタル生態講座

②19時～21時 ホタル散策

【場所】①地域交流センター 講座室

②地域交流センターから赤田神社まで

【講師】角田 正明氏(やまぐち昆虫学会)

【対象】①100名(先着順)

②30名(先着順)

※①と②は別々に申し込みができます。

【申込・問い合わせ】よしきホタルのタベ実行委員会

☎083-922-1334

子育て講座「小児救急」

いざという時に子どもを守る小児救急について、一緒に学びましょう。

【とき】6月28日(金)10時～11時30分

【場所】地域交流センター 講座室

【講師】市消防本部職員(救急救命士)

【対象】未就学児と保護者15組(先着順)

【託児】有(要申込)

【準備】動きやすい服装

【問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-13915

吉敷地域 がん検診(胸部レントゲン)のお知らせ

がんの早期発見に向け、集団検診を実施します。早期のがんは自覚症状がないことが多いため、定期的な検診受診が必要です。40歳以上で、職場等で検診(人間ドック等)を受ける機会のない方はぜひ受診しましょう。受診の際は必ず、がん検診等受診券をご持参ください。【問い合わせ】市保健センター 083-921-2666

◎肺がん(結核)検診

【負担金】なし 【予約】不要

期 日	受付時間	場 所
7月9日(火)	9:00～15:00(12:00～13:00は除く)	吉敷地域交流センター

◎喀痰検査(肺がん検診と同時に受診できます。)

【対 象】肺がん検診受診者のうち、50歳以上で喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が600以上の方

【負担金】600円(70歳以上の方、「後期高齢者医療被保険者証」を提示された65～69歳の方、70歳未満で市民税非課税世帯の方(要事前申請)は自己負担金が500円です。)

経済センサス基礎調査を実施します

令和元年6月から翌年3月にかけて、市内のすべての事業所・企業を対象に経済センサス基礎調査が実施されます。

この調査は、すべての産業分野における事業所及び企業の基本的構造を明らかにすることを目的に行われる国の重要な統計調査です。

この調査では、県知事から任命を受けた調査員が、市内すべての民営事業所の活動状態を外観などから把握するとともに、新たに把握した事業所には調査票を配布することとしています。

吉敷地域においては、6月から7月にかけて、調査証を携帯した調査員が地域内を巡回調査する予定としています。ですので、調査員が訪問の際は調査にご協力をお願いいたします。

【問い合わせ】市情報管理課
☎083-934-2748

地域交流センター新刊図書案内

・ 大家さんと僕

(矢部 太郎)

・ おしりたんてい

(トロール)

・ おしりたんていむらさきぶんのあなうけん

(トロール)

・ かがみの孤城

(辻村 深月)

レポート

あみあみしながら子育てトーク

4月19日(金)、つどいの広場「楽楽」で、「ニットカフェ」が開催されました。編み物をしながら、子育てについておしゃべりを楽しまれました。



大運動会！熱戦に大歓声！！

4月21日(日)、「吉敷地区大運動会」を開催しました。

天候にも恵まれ、2年ぶりの開催となった大運動会は、各町内の体育委員を中心に、地区内で声を掛け合い集った総勢1,000名が参加し、大人から子どもまで、選手たちが各競技でグラウンドを縦横無尽に駆け回りました。



競技は交流を目的としたふれあい種目と町内対抗で競う全21種目。伝統競技である町内対抗リレーや騎馬戦、順送球などは大白熱の激戦。勝敗が決まると、各テントから大歓声が沸き起こりました。



子どもだけではなく、大人も童心にかえり全力で参加。その姿をみた子どもたちはさらに楽しそうにしていました。

吉敷の運動会は応援も全力です。各町内会・自治会のテントで大応援の熱戦も繰り広げられました。

朝9時から始まった大運動会。大混戦の争いの末、見事に総合優勝の栄冠を掴みとったのは赤田町内会でした。おめでとうございます！

選手の皆さん、運動会運営に協力された皆さん、大変お疲れ様でした。



綺麗に咲くのが楽しみ♡

4月26日(金)、環境づくり推進協議会が、吉敷幼稚園園児と一緒に、ふれあい花壇の苗植え体験を行いました。ふれあい花壇に集合した可愛い園児たちを相手に、協議会の役員が優しく花の苗植えを教え、園児たちは無邪気に楽しんでいましたよ。



爽やかな人々の交流を通じて

4月28日(日)、「よしき軽井沢通り」が開催されました。

この催しは、人の交流を創出することによって、軽井沢のようなさわやかな風を吹かせていこうと、地域の有志が立ち上げ、今年で7回目になります。当日は演技や出店などもあり、通りは行列もできていました。



安心・安全を守る準備万端

4月29日(月・祝)、大蔵小学校体育館で、鴻南3地域合同の「鴻南方面隊一日訓練」が実施されました。この訓練に吉敷分団では、団員全員で参加するようにしています。基本となる行進訓練やホース延長訓練等、地域の安心・安全を守る準備は万端です。



地域をお花でいっぱい☆

5月9日(木)、「春の花壇講座」を開催しました。

吉敷では名物講師と言っても過言ではない多々良造園の吹上笑美氏を講師に、夏花壇の土作りの基本や花の特性について学びました。

今年も8月13日のよしき夏まつりで、子ども会花壇表彰がありますよ！



1 土	
2 日	●地区グラウンドゴルフ大会 8:30～
3 月	●あいさつの日 ●ブックスタート体験会 10:00～ P.6
4 火	
5 水	
6 木	●町内会長会 18:30～
7 金	
8 土	●YOSHIKIわくわくファームらんど 10:00～ ●よしきホテルの夕べ 15:00～19:00 P.5 ●レノファ山口 VS 横浜 19:00～ (みらスタ)
9 日	●よしきホテルの夕べ 10:00～21:00 P.5
10 月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～
11 火	
12 水	
13 木	●広報委員会 17:00～
14 金	
15 土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00 ●えがお食堂よしき 11:30～13:00
16 日	●親睦ソフトバレーボール大会 8:45～
17 月	
18 火	
19 水	

20 木	●ふれあい給食 ●ひよっこくらぶ 10:00～11:30
21 金	
22 土	●レノファ山口 VS 岐阜 19:00～ (みらスタ)
23 日	
24 月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～ ●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00～15:00
25 火	
26 水	
27 木	
28 金	●子育て講座「小児救急」 10:00～11:30 P.6
29 土	
30 日	

7月のおもなイベント

4 木	ひよっこくらぶ 10:00～11:30
7 日	市消防団操法大会 8:30～
8 月	あいさつの日
9 火	肺がん(結核)検診 9:00～15:00(12:00～13:00は除く)
10 水	育児相談 13:30～14:30(受付時間)
18 木	ふれあい給食
21 日	河川一斉清掃 7:00～

「平成から令和へ」

いよいよ令和の時代へ変わり、どんな世の中になるのか、不安と期待で迎えました。山口県では、大正から平成にかけて、人生を歩み、昨年度内に満100歳を迎えられた高齢者が、男女合わせて532名と過去最高とのことでした。

私の生まれた昭和29年は、戦後、高度経済成長期に入り、みんな一生懸命生きていましたが、その後、原発事故や自然災害等、平成は激動の時代でもありました。

そうした中、上皇・上皇后両陛下は、二人三脚で、私たちに対し国民目線で寄り添ってくださり、テレビや新聞でも仲睦まじいお二人を拝見すると、自然と涙腺が緩んでしまいます。夫婦の在り方を改めて考えさせられる4月30日でした。

国民の象徴として、体調の優れない時も公務をなされ、本当に頭の下がる思いです。平和と絆を大切にされつつ、穏やかな生活を送っていただきたいと願うばかりです。

天皇・皇后両陛下は、進歩していく世の中において、お体に気をつけられ、無理をされず公務にあたっていただけだと思います。

広報委員 田中公吉

[発行・編集]

吉敷地区広報委員会(〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)
☎083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト・フェイスブック
<http://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

